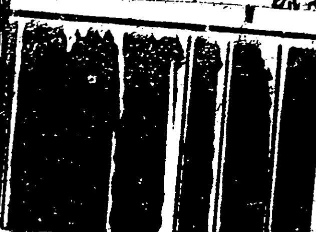
No.
名紙 大阪朝日 大正9年1月26日
名紙 大阪毎日 大正9年1月30日
名紙 福岡日々 大正9年2月3日
名紙 八幡新聞 大正9年1月22日

製鐵所職工 又動く
勞友會總會 擱上の主張

八幡製鐵所職工を會員とする勞友會は去る十七日同會本部にて總會を開きたる[illegible]の會員は又[illegible]時間制の[illegible]製鐵所當局に迫るべしと主張し[illegible]せて舍宅のなき職工には住宅料を支給せしむべしと唱へ賛成者多き[illegible]淺原同會長は然らば各員の同意を得て實行すべしとて翌日より製鐵所中央機械、第二小型、大型、[illegible]等の各工場職工の連判を求め已に五千數百名の賛成者を得たるを以て近く製鐵所當局に向つて正式に交渉を開始すべしと（門司電報）

八幡製鐵所の 慢性的怠業

天下一品
優良灘酒
月 停車場通
岡田第三



ぞ入會十勞友會の勢力が日ふて増大しゆくを見るにつ
▲心窃かに面白から

山雨到らん風樓に滿つ
製鐵職工大動搖
勞友會の一大示威運動
同盟罷工か？時間短縮？

▲八幡市の 日本勞友會にては去十七日尾倉大門町の本部に於て定例評議員會を開會し當日の重なる議案たる會館建築問題に就て協議中端なくも會員中より豫て希望し居りし製鐵所時間短縮嘆願に就て議論沸騰し其從業時間は八時間さ十時間制の二派に別れ其他同所職工にして官舍を給せられざるものには

▲舍宅料の 要求を なし舍宅料は安川式に則り月五圓三圓一圓五十錢位の等級を別つ事を希望し右時間短縮さ舍宅料給與の要求を爲し萬一製鐵所に於て之を絕對容れられざる時は同所會員約六千名一齊に同時ストライキを企てん事を決議せ

明し當日は該問題は淺原會長に一任する事として散會せしが爾來會員の氣勢頗る猛烈を極め同會幹部の主なる者は翌日より夫々前後策を講究し居たりしが越へて十九日に到り同會幹部は製鐵所の職工

▲六千名の 會員 對し一齊に檄を飛ばし當日中同會員にして最も勢力を有し急進派ご目せらる製鐵所中央機械第二小形工場大形工場鍛鋼工場外輪工場運輸課熔鋼原料工場拇付工場鑄物工場及ロール工場の約二千名の同會員中に

▲一瀉千里 に加入の連判狀を取りたるがこれが爲め淺原會長は豫定の上京を中止し目下之か前後策を構じ製鐵所職工の[illegible]